

議案第1号

令和5年度事業報告

I 理事会、評議員会の開催概要

1 令和5年6月11日 定時理事会開催

議案 ①令和4年度事業報告

②令和4年度決算報告及び監査報告

③次期理事・監事候補者の推薦について

④定時評議員会の開催日について

⑤報告事項(職務実施状況、展覧会計画について)

2 令和5年6月26日 定時評議員会開催

議案 ①令和4年度事業報告

②令和4年度決算及び監査報告

③理事及び監事の選任について

④報告事項(職務実施状況、展覧会計画について)

3 令和6年3月24日 年度末定時理事会

議案 ①令和6年度事業計画について

②令和6年度収支予算並びに資金調達及び設備投資の見込みについて

③つなぎ資金の借り入れについて

④報告事項(博物館入館料・庭園入園料の改定、職務実施状況、展覧会計画について)

II 毛利博物館事業報告

1 展示

(1) 【平常展】 第一展示室 基調テーマ「毛利家の歴史と文化」

基調テーマにしたがい毛利家の歴史と文化を示す古文書や美術工芸品などを展示した。

(2) 【特別展・企画展】 第二展示室

例年どおり7つのテーマを選んで企画展・特別展を実施した。

特に今年は、毛利隆元生誕500年・毛利元就郡山入城500年を記念して、防府市や安芸高田市と連携して関連の事業を実施した。また、例年通り防府市・読売新聞西部本社・山口放送株式会社などと連携して、特別展「国宝」の周知ならびに集客に努めた。

展覧会名	期間	内 容	総入館者数
企画展 毛利元就郡山入城 500年記念 元就入城	4月22日 ～ 5月28日	毛利元就の家督継承と郡山城入城から500年の節目にあわせて、毛利氏の祖大江広元から元就の登場に至る、毛利家の歴史について紹介。防府市の協力により安芸高田市から郡山城の模型を借用して公開した。	2,402人
企画展 毛利隆元生誕 500年記念 名将の子 ・毛利隆元	6月 3日 ～ 7月 9日	毛利元就の長男隆元の誕生から500年を経たことから、隆元の生涯を紹介する記念展示。特に、元就と隆元の往復書簡から、元就の後継者としての悩みなど、心のうちを物語る、他家にはない貴重な資料を公開した。	1,867人
企画展 毛利輝元 生誕470年記念(1) 毛利輝元 と天下争奪 ・信長・秀吉・家康 と毛利氏	7月15日 ～ 9月 3日	毛利輝元生誕470年を記念して、父の隆元早世により、元就の覇業を継承した孫の輝元と、信長・秀吉・家康のいわゆる天下人との抗争に関わる資料を公開し、果敢に家の危機を乗り切った毛利輝元の前半生を紹介した。	2,010人
企画展 毛利輝元 生誕470年記念(2) 毛利輝元の 国づくり ・関ヶ原と 長州藩の誕生	9月 9日 ～ 10月22日	毛利輝元生誕470年を記念して、関ヶ原の敗戦という毛利家の危機にあたり、防長移封後の毛利輝元がいかにして体制を立て直し、江戸時代260年の基礎を築き上げたかを、輝元ゆかりの資料から紹介した。	2,309人
特別展 国 宝	10月28日 ～ 12月 4日	毎年恒例の展覧会として、防府市などと連携し、雪舟筆「四季山水図」以下の国宝をはじめ、国宝級の古文書・美術工芸品などを公開した。	5,543人
企画展 毛利家のお正月	12月 9日 ～ 1月21日	毛利家伝来の「正月飾り」ほか、正月にちなんで、福を招く吉祥の意匠が表された絵画や調度などのめでたい美術工芸品を公開した。	1,308人
企画展 毛利家の雛まつり	2月 4日 ～ 4月 7日	“ひなまつり”にちなみ、「次郎左衛門雛」「有職雛」をはじめ、毛利家伝来の雛道具や衣裳など、毛利家の女性にまつわる品々を公開した。	5,165人

2 文化財指定の実現

毛利博物館所蔵の文化財のうち「大内氏関係故実書等関係資料(毛利家伝来)」が新たに山口県指定有形文化財に指定された。

これにより毛利博物館所蔵の山口県指定有形文化財は11件になった。

3 資料の整理・調査

(1) 博物館資料のデータベース化作業

① 美術工芸品資料について

入力を終え、記載内容と現物との照合を行っている。

② 古文書・典籍について

既入力分の歴代藩主関係文書約8,000点を紙台帳との照合を進めている。

(2) 博物館資料のデジタル化作業

博物館資料32点(美術工芸品2点・古文書30点)をデジタル化した(全109カット)。

4 資料の貸出

(1) 安芸高田市歴史民俗博物館	: 毛利家文書「毛利元就郡山入城日記」など	12点
(2) 山口県立美術館	: 雲谷等益筆「四季山水図(雪舟模本)」など	4点
(3) 萩博物館	: 高島北海筆「長門峡図」	1点
(4) (公財)富士美術館	: 「源氏物語絵巻」など	2点

5 教育普及事業

(1) 国際博物館の日協賛事業への参加

例年通り5月18日(火)に博物館を無料開放し、幅広く来館を促した。入館者は計28名。

(2) 博物館実習生の受け入れ

県内大学の学芸員資格講座、および山口県出身者に対する博物館専門職員の養成協力として、今年度は2名の実習生を受け入れた。

内訳は、山口大学1名・京都芸術大学1名

(3) 小学・中学・高校・大学生の校外活動指導

小・中・高等学校・大学で実施される校外学習や修学旅行、研修旅行の行程上、当館を訪れた学童生徒、特に防府市内の児童・生徒を対象に、地域の歴史、あるいは毛利博物館・旧毛利家本邸・毛利氏庭園に関して指導した。

山口県立防府商工高等学校「カメラ女子部」(10名)・山口県立防府高等学校普通科(3名)・山口県立防府総合支援学校中学部(9名)・防府市立桑山中学校(145名)・防府市立国府中学校(121名)・防府市立佐波中学校(53名)・防府市立牟礼小学校(82名)・防府市立勝間小学校(45名)

(4) 団体・個人を問わず、積極的に館内の説明を行った。

(5) 毛利隆元生誕500年を記念した記念誌『隆元の手紙』を制作した。

6 基本参考図書・備品の購入

(1) 基本・参考図書(『MUSEUM』『月刊文化財』)を購入した。

(2) 資料保存、展示用具、資料の調査・研究及び展覧会開催に必要な消耗品などを購入した。

7 学術研究に伴う資料調査

(1) 宇都榮子(専修大学名誉教授)	: 福田会資料	13点
(2) 福田善子(山口県立美術館普及課長)	: 雲谷等益筆「四季山水図」ほか	3点
(3) 岡本麻美(山口県立美術館主任学芸員)	: 源氏物語絵巻	1点
(4) 久保木秀夫(日本大学文理学部教授)	: 毛利元就詠草連歌ほか	5点
(5) 林元(山口県文化振興課専門研究員)	: 大内氏関係故実書	114点

8 広報活動

(1) 広報資料の作成

毛利博物館および当年度の展覧会を紹介するパンフレットやポスター・チラシを幅広くマスコミ・観光施設・旅行社等、及び美術館、博物館、山口・防府市内のホテル旅館等に配布してPRにつとめた。

① 「毛利博物館の企画展」告知ポスター(B2)	: 230枚
② 特別展「国宝」告知ポスター(B2)	: 280枚
③ 特別展「国宝」告知チラシ(A4両面)	: 20,000枚

(2) マスコミなどへの協力

① 取材に対する協力

- ・企画展「元就入城」
: 1件(防府市)
- ・企画展「名将の子・毛利隆元」
: 13件(地域情報新聞・イベントバンク・防府日報・中国新聞・防日新聞ほか)
- ・企画展「毛利輝元と天下争奪」
: 9件(山口県・地域情報新聞・防府日報・KRY・FMわっしょいほか)
- ・企画展「毛利輝元の国づくり」
: 9件(中国新聞・防府日報・地域情報新聞・FMわっしょいほか)
- ・特別展「国宝」
: 13件(KRY・読売新聞・防府観光コンベンション協会・地域情報新聞ほか)
- ・企画展「毛利家のお正月」
: 5件(防府日報・共同通信社・地域情報新聞・防府観光コンベンション協会ほか)
- ・企画展「毛利家の雛まつり」
: 3件(吉川弘文館・防府観光コンベンション協会ほか)
- ・旧毛利家本邸
: 4件(KRY・NHK・防府市ほか)
- ・毛利博物館
: 2件(防府市ほか)
- ・博物館資料(「源氏物語絵巻」「四季山水図」など)
: 10件(NHK・西日本新聞社など)
- ・毛利家の歴史その他
: 4件(BS11・NHKほか)

のべ 73社

② 広報記事の投稿

- ・企画展「元就入城」 : 9本(防府日報・地域情報新聞)

- ・企画展「名将の子・毛利隆元」 : 9本(防府日報・地域情報新聞)
 - ・企画展「毛利輝元と天下争奪」 : 10本(防府日報・地域情報新聞)
 - ・企画展「毛利輝元の国づくり」 : 9本(防府日報・地域情報新聞)
 - ・特別展「国宝」 : 9本(防府日報・地域情報新聞)
 - ・企画展「毛利家のお正月」 : 8本(防府日報・地域情報新聞)
 - ・企画展「毛利家の雛まつり」 : 9本(防府日報・地域情報新聞)
 - ・特別公開「新指定『四季山水図』」 : 6本(地域情報新聞)
 - ・その他 : 6本(古文書を読む会・山口県労働協会・防府日報・防府商工会議所など)
- のべ 75本

③ 出版物・テレビ番組・教材などへの写真掲載・放映・撮影の許可

- ・書籍・ビデオやインターネット利用の教材等 : 40件(65点)
内訳: 河合塾・ベネッセコーポレーション・日本入試センター・吉川弘文館など
- ・テレビ番組等 : 24件(25点)
内訳: NHK・テレビ朝日・TBS・テレビ東京

(3) ホームページによる広報の活性化

ホームページによる展覧会情報や庭園における花の咲き具合などの告知を、即時性・広汎性にすぐれた媒体として重視し、ホームページ内における新着情報の内容を時宜に応じて更新し、宣伝を行った。ホームページの閲覧数は1日あたり70~250件。

9 自治体・他博物館・教育機関との協力

展覧会事業の活性化や入館者の増加をめざして、関連の自治体や博物館との連携を深めた。本年度の取り組みは以下のとおり。

(1) 毛利隆元生誕500年・毛利元就郡山入城500年記念関連の連携

防府市・安芸高田市教育委員会との連携により、企画展「元就入城」「名将の子・毛利隆元」を実施し、ギャラリートークならびに子ども向けイベントを実施した。また安芸高田市歴史民俗博物館の特別展に対しても、出品ならびに講演を引き受けて相互に協力した。

(2) 山口県立美術館との連携

同館秋の特別展に、昨年指定を受けた重要文化財の雲谷等益筆「四季山水図(雪舟模本)」などを貸し出すことにより、当館の特別展「国宝」における雪舟筆「四季山水図」公開との相乗効果による集客増を図った。

(3) 特別展「国宝」に関する連携

防府市・防府市教育委員会・(一社)防府観光コンベンション協会、ならびに読売新聞西部本社・KRY山口放送と連携して、防府読売マラソンと一体化した広報活動に努め、特別展への集客を強化した。

Ⅲ 建造物・庭園の維持管理事業

(1) 邸宅等の維持管理について

○本邸の保存・修理は、「重要文化財旧毛利家本邸保存活用計画(2015年3月)」に基づいて、文化庁や県・市：文化振興課の指導を受けて順次行っているが、今年度は大きな修繕・修理等がなく、雨戸破損修繕等の小修理を実施した。

○防災設備の定期点検及び日常の保守整備を実施し、自動火災報知設備や誘導灯の改善箇所が見つかり整備を行った。

(2) 庭園全体の管理について

庭園担当職員の日常管理により、きめ細かに目配りのきいた整備を進めている。本年度は大門入口からゴルフ場境目及び欄干橋までの竹・樹木伐採(令和6年3月)、樹木のうち、大駐車場から大門にかけての沿道のアカマツ6本の枝枯れ処理、庭園内のアカマツ3本がマダラカミキリ産卵等で枯死し、倒木の危険性があったので伐採し処理した。さらに古くなった桜の倒木処理など、樹木の老木化への対応が必要となってきた。

また、専門の業者に委託している松および高木の剪定及び松枯れ予防対策、並びに庭園内の清掃除草の作業についても、緊密に連携をしながら国指定の名勝にふさわしい景観の維持に努めた。

(3) 入館者・入園者の増加策について

コロナが収まり、防府市の全面的な支援協力もあり、企画展や関連事業等を展開することで、入館者・入園者がコロナ前近くまで回復してきた。また、すごいぞ！防府秋の大イベントや防府読売マラソンなど市内大規模イベントと連携し、博物館・庭園の広報PR(ポスター、パンフレット、スケジュール表配布)に努めた。

○山口県立美術館などとの連携

県立美術館のコレクション展・特別展にあわせ、ポスター・チラシなどの配布を通して本博物館への集客に努めた。

○防府市及び防府観光コンベンション協会との連携

防府市や防府観光コンベンション協会主催の「すごいぞ！防府」秋季大規模イベントなどで、毛利博物館・毛利氏庭園の魅力をPRする活動を展開した。

また、市内4施設(毛利氏庭園、防府天満宮芳松庵、周防国分寺金堂、阿弥陀寺宝物館)の共通拝観券(1,200円)を販売し、市内イベント実施団体と共同利用企画(まち歩き)やスタンプラリー等に協力し集客に努めた。

○JR西日本やウェザーニュース、ナビタイム等の観光サイト向けに「桜や紅葉のみごろ情報」を提供し、西日本の各地に向け旬の情報発信を図った。

企画展をはじめ、庭園の様子をメディアにこまめに連絡し、特にテレビニュース等への露出をはかることによって、誘客に努めた。